

顕彰生表彰にあたって

令和7年3月24日(月)

このたび山梨予備校では、五名の皆さんを顕彰生として表彰することになりました。このことには大きく三つの趣旨がありますので、表彰前の時間を少しだけいただき、簡単に説明いたします。

まず一つ目に、この表彰は皆さんがご自身の目指す難関の大学入試に向けてたゆまぬ努力を重ね、見事に合格を勝ち取られたことを称えるものです。学習成果の蓄積と栄冠の獲得…、今後山梨予備校生のモデルとなることを願いつつ顕彰いたします。

二つ目に、表彰には皆さんを支えてくれたご家族に対する感謝の気持ちを込めています。経済的な支援に加え、心理的にも支えてくださいました。本日の顕彰は、ご家族に是非報告してください。

三つ目に、山梨予備校で大学を目指してきた全員を称えたい、そういう思いも含まれています。同じ目的をもつ人たちの集団には大きな力があって、それが集団の一人一人の成長を促します。本校は、集団の力というものを大切にしていきたいと思えます。

以上の趣旨から本日、皆さんを顕彰生として表彰いたします。それでは表彰に移ります。

(表彰状を渡してから)

ただいま表彰状をお渡ししました。私は時折、家で自分の机の引き出しの中にふとあるものが目に留まり、手に取ってしげしげ眺め入ってしまうことがあります。47年前の予備校時代の学生証です。これは現在、何の役にも立ちませんが、予備校で過ごした時代の、気持ちの落ち着かない日々が自然に思い返され、そういう時代を経て今の自分はいら…、この思いは、うまく説明できませんが、私の生きるエネルギーにはなっていると思います。今お渡しした表彰状も具体的に何かの役に立つわけではないかもしれませんが、将来の皆さんを励ますであろうことは間違いのないと思います。なくさないで大事にとっておいて、時折しげしげ眺め入ってください。本日は、ご出席ありがとうございました。